
「切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ療法の治療成績の検討」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等
を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人
の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になる
ことは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年12月1日から2022年8月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、切除不能進行肝癌
と診断され、アテゾリズマブ/ベバシズマブ療法を施行した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

切除不能進行肝癌に対するアテゾリズマブ/ベバシズマブ療法の有効性について明らかにします。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年3月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料：ありません。

情報：検査データおよび診療記録より下記の内容について利用します。

患者背景（年齢・性別・肝疾患の成因）、治療開始日、肝細胞癌治療歴、肝予備能、腫瘍
径・個数、肝外病変、門脈浸潤度、腫瘍マーカー（AFP・PIVKA-_{II}）、甲状腺機能検査、そ
の他の血液生化学検査（白血球・ヘモグロビン・血小板・AST/ALT・クレアチニン・アルブ
ミン・総ビリルビン・アンモニア・PT%）、尿検査（尿蛋白）、抗腫瘍効果、有害事象、
転帰

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科において、研
究責任者である持田智が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患
者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

切除不能肝癌と診断されアテゾリズマブ/ベバシズマブ療法を施行した際の検査データおよび診療
記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 菅原 通子

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1198（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ/ペバシズマブ療法の治療成績の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智